

岩舟地域包括支援センター 担当

- 日 時： 令和8年5月20日（水）午後1時30分～2時00分
- 開催方法： 栃木市役所大平総合支所 2階会議室
- 事例数： 1ケース
- 参加者数： 16名

事例提供者1名、助言者6名、サービス事業者3名
包括職員2名、傍聴者4名

軽度知的障がいをもつ一人暮らしの71歳男性

〈目標〉1日:毎日の生活日課を続ける。

1年:運動をして転ばないようにしたい。

利用サービス:通所介護、福祉用具貸与

《生活全般の解決すべき課題》

- ・運動の機会を確保し、筋力の低下を防止したい。
- ・意欲低下による閉じこもりのリスクがある。
- ・骨折の痛みや下肢の長さの左右差があり、安全に移動できる環境が必要。

《助言者からの助言内容》

- ・下肢の長さの左右差がありADL低下による転倒のリスクが高い。また前立腺癌のホルモン治療は骨粗鬆症の進行が考えられるため定期健診の必要性がある。
- ・歯肉炎等の口腔内や義歯の状態を確認するために早めの歯科受診が必要である。
- ・気温が高くなると生理的に血圧が低くなるため、服薬コントロールには十分な注意が必要である。
- ・下肢の長さの左右差が原因で段差等の転倒に注意が必要である。また、靴底を厚くするなど調整することでスムーズな歩行が可能。
- ・気温が高くなることで日持ちの良い食品に偏りがちだが、冷凍食品等を活用することでバランスのよい食事が摂りやすくなる。
- ・社会参加の一つとして通いの場や交流の場へ出かけてみるのもよい。



現在の生活を維持しながら、社会参加を通して閉じこもりがちを予防する。

☆地域課題（地域に不足、再構築を図りたい支援・サービス等）

- ・地域内において、社会参加ができる通いの場や交流の場の情報が不足している。